

木曾川水系流域委員会 規約 (改正案)

(名称)

第1条 本会は「木曾川水系流域委員会」(以下「流域委員会」という)と称する。

(目的及び設置)

第2条 流域委員会は、木曾川水系河川整備計画(以下「整備計画」という。)策定後、社会情勢の変化や地域の意向、河川整備の進捗状況や進捗の見通し等を適切に反映できるように整備計画の点検を行うにあたり、河川に関し学識経験を有する者の意見を聴くことを目的として、国土交通省中部地方整備局長(以下「局長」という。)が設置する。

2. 流域委員会は点検の結果、整備計画の変更が必要となった場合には、整備計画の変更原案に関して河川法第16条の2第3項及び第7項に基づき意見を述べる。
3. 流域委員会は整備計画に基づく事業の計画段階評価、再評価、事後評価について審議を行う。

(組織等)

第3条 流域委員会の委員は局長が委嘱し別紙の通りとする。

2. 委員の任期は委嘱日より3年間とし再任は妨げない。
3. 委員に欠員が生じた場合には必要に応じて委員の補充を行うものとする。
4. 必要に応じて臨時に委員以外の学識経験を有する者を招聘することができる。なお、臨時委員の任期は委員の任期に準ずることとする。

(情報公開)

第4条 流域委員会の会議、会議資料及び議事要旨については特定の個人・団体の利害及び重要な希少種の位置情報などに関わるものを除き原則として公開する。

(会議)

第5条 流域委員会には委員長、副委員長を置くこととし、委員長、副委員長は別紙のとおりとする。

2. 委員長は流域委員会の議事を進行する。
3. 委員長に事故があるときは副委員長が代行する。
4. 会議の招集・開催は局長が行う。
5. 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立する。

(事務局)

第6条 流域委員会の事務局は国土交通省中部地方整備局木曾川上流河川事務所及び、木曾川下流河川事務所及び新丸山ダム工事事務所が行う。

2. 事務局は、必要に応じて委員の了解を得た上で、臨時に関係機関等を事務局に加えることができる。

(規約の改正)

第7条 本規約の改正は流域委員会委員総数の過半数の同意をもってこれを行う。

(雑則)

第8条 本規約に定めるもののほか、流域委員会の運営に関し必要な事項は、流域委員会において定める。

付則

(施行期日)

この規約は、平成29年 5月 9日から施行する。

平成30年 6月26日一部改正

木曾川水系流域委員会 委員名簿

役 職	氏 名	所 属	専 門
委員長	つじもと てつろう 辻 本 哲 郎	名古屋大学名誉教授	河 川
副委員長	まつお なおき 松 尾 直 規	中部大学工学部長・教授	環境水理
委 員	いのうえ じゅん 井 上 純	(株)中日新聞社論説委員	メディア
	おおの えいじ 大 野 栄 治	名城大学教授	事業評価
	からたに ゆか 柄 谷 友 香	名城大学教授	防 災
	くりはら だいすけ 栗 原 大 介	(一社)中部経済連合会常務理事	経 済
	さいじょう よしみち 西 條 好 迪	(一財)自然学総合研究所理事長	植 生
	せきぐち ひでお 関 口 秀 夫	三重大学名誉教授	底生生物
	ひらの ひさかつ 平 野 久 克	NPO法人木曾三川環境保全機構顧問	環 境
	ふじた ゆういちろう 藤 田 裕 一 郎	岐阜大学名誉教授	河 川
	みぞた だいすけ 溝 田 大 助	(公財)愛知・豊川用水振興協会理事長	農 水
	もり せい いち 森 誠 一	岐阜経済大学教授	魚 類

(敬称略 五十音順)